

四国支部現場見学会 報告書

報告 福家佳則

2022.10.21 に「不破原トンネル工事」（西松建設(株)施工）の現場見学会を開催しました。

高知県で一般国道 56 号窪川佐賀道路が建設中ですが、当工事は L=1,831m のトンネル工事です。

当トンネルでは、すべての工事用電力に「高知県営水力発電所で発電した電気」を使用し、ずり出しには連続ベルトコンベアを使用するなど、積極的なカーボンニュートラルへの取り組みがなされています。

トンネルの地質は、四万十帯の砂岩・泥岩とそれらの互層からなります。亀裂が多い区間もありますが、安全に順調に掘削が進められておりました。

本見学会は、「土木学会継続教育（CPD）プログラム」に申請し、参加者に利用していただきました。

【工事概要】

1. 開催日時： 10月21日（金）13:30～15:30
2. 工事名： 令和2-5年 窪川佐賀道路不破原トンネル工事
3. 施工者： 西松建設株式会社
4. 発注者： 国土交通省 四国地方整備局
5. 工事場所： 高知県幡多郡黒潮町
6. 工事概要： L=1,831m 発破掘削 NATM 砂岩、泥岩互層

【実施概要】

まず事務所打合せ室にて、鬼頭所長、岩間副所長から工事の説明を受けました。

参加者は26名でした。

工事概要については、Youtube に投稿されていますので、下の url からご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=nynzHdWfgKU>

トンネルは570m までの掘削が進んでいました。現場では様々な工夫・改善が取り入れられており、驚きの連続でした。

当現場のコンセプトは、こんなものかと察します。

- ① 所員の高いモチベーションの確保
- ② 作業環境・衛生面の積極的な改善
- ③ 地域との調和

これらが、巧みに計画・配備・試行されていました。

すべてを語りつくすことはできませんので、いくつかご紹介させていただきます。

ずり出しにおける改善

掘削するトンネル自体はベルコンを採用するにはやや短いのですが、別の掘削済みのトンネルを抜けた位置がズリ置き場になるため、掘削当初から連続ベルコンを設置しています。また、ショベルカーの遠隔運転を試行していました。

切羽のズリ積み込み・運搬は、一般に良い安全・衛生環境とはいえず、当現場では問題解決に取り組んでいました。

さらなる進展を期待します。

坑内に水洗トイレ

坑内に浄化槽付きの水洗トイレがありました。現場もここまで来たかという感じですね。一例としてご紹介しました。

事務所入り口にお遍路さんの休憩所

事務所は宇和島方面へぬける国道ぞいにあります。この道を通るお遍路さんたちに利用してもらおうべく、立派な休憩所を作っていました。心使いに関心しました。

ほんの一例ですが、現場の取り組みをご紹介させていただきました。大変貴重な見学会となり感謝申し上げます。

終了後に高知市内にて 14 名で懇親会を開催し、さらに有意義な意見交換ができました。

コロナが始まって以来、リアルな見学会や懇親会を控えておりましたので、久しぶりにこのような現場見学会を開催できて良かったです。

現場関係者各位には、会場設営、交通手段など、様々なご支援をいただき心よりお礼申し上げます。

現場の安全と順調な進捗を祈念しております。

